

# 『繭に包まれて』

～精神的絶縁についての考え～

ほとんどの人は、ある時点で  
脳がオフになる状態に達します。

そして彼らは存在の叫び声から  
遮断されることを求めます。

狂気に満ちた世界で健康であるためには、  
繭を作るのが賢明です。

飲み物に避難所を見つける人もいれば、  
さまざまなカルトに避難する人もいます。

多くはサイバー関係に興味を持って、  
他の人は奇妙な楽しみを求めます。

繭から抜け出すには勇気と信念が必要です。

内面の変化は簡単そうに見えますが、  
深い変化には規律と根性が必要です。

**アンドレイ:** (首を振って) この詩は奇妙だね。すべての普遍主義のメッセージと同様に、それは深い分析に耐えられません。

**ティン:** そうね。それに、誰が世界が「狂っている」と言ったの？ 世界は私たちを映す鏡にすぎず、それ以上ではないのでは？

**ティム:** 私は世界全体について意味のある発言はできない。せいぜい、私自身についての仮説をいくつか提示できる程度だ。

この翻訳では、ChatGPT、Deep-L、Google Translateの組み合わせが使用されました。

- T Newfields

開始: 1996年 桃園市 完成: 2023年 横浜市